

仲介者

型の性格



はじめに

仲介者 (INFP) は控えめ、または静かそうに見えるかもしれませんが、心の中は情熱であふれ、生き生きとしている人たちです。独創的かつ想像力豊かなので、色々な空想をしながら、さまざまな会話やストーリーを作り上げることが好きなタイプでしょう。繊細な気質の持ち主として知られていて、音楽、芸術、自然、そして周りの人に対して、深く感情的に反応する人たちです。

仲介者は高い理想を持ち、共感力が高く、人助けが自分の使命だと感じていて、深く心を通わす人間関係を求めます。でも全人口のうち仲介者が占める割合はとても低いので、仲介者特有の気質を正当に評価しない世界にさまよいながら、「自分は他の人に見えていないようだ…」と感じたり、孤独感を覚えたりすることもあるでしょう。

金はすべて輝くとは限らない。さまよい歩く者が皆迷っているとは限らない。
年老いても強い者は枯れない。深い根に霜は届かない。

J・R・R・トールキン

“共感力”という賜物

仲介者は人間性の深みについて心の底から興味があります。根っから内省的な上に、自分の思考と感情をものすごく的確に把握できる人たちで、周囲の人についても理解を深めたいと強く望みます。断定的判断を避ける気質があり、また、慈悲深い性分の持ち主で、どんな時でも他の人の話に耳を傾けるでしょう。「仲介者になぐさめてほしい」と誰かが思っていたり、誰かに心を打ち明けられたりしたら、相手の話を聞き、力になれることを光栄に感じるでしょう。

仲介者にとって理想的な人間関係は、大それた夢や希望だけでなく、ひそかに抱えている恐れや他の人に言えない自分の脆弱さについても、安心して共有できる関係です。

仲介者が持つ最大の資質の一つは共感力なのですが、これはマイナスに作用してしまうこともあります。仲介者は世の苦しみを重圧として抱え、他の人が持つ否定的な考え方や気分を吸収しがちなので、バウンダリーを引くようにしなければ「是正されなければいけない悪が多すぎる…」と感じ、精神的に打ちのめされてしまうでしょう。

自分の真実を語る

仲介者は自分を偽ると、ものすごく不安を感じてしまいます。自分らしさを大切にする上に繊細な気質があり、さらにクリエイティブに自己表現をする機会を切望する人たちなので、著名な仲介者の多くが詩人、作者、俳優、芸術家なのも納得でしょう。人生の目的や意義

について思いを巡らせずにはいられず、そうする過程で色々なストーリーやアイデア、可能性を考え出す人たちなのです。



仲介者は自己表現の才能があるので、架空の人物や“例え”を通して、心の奥の思いや秘密を明かすこともあります。

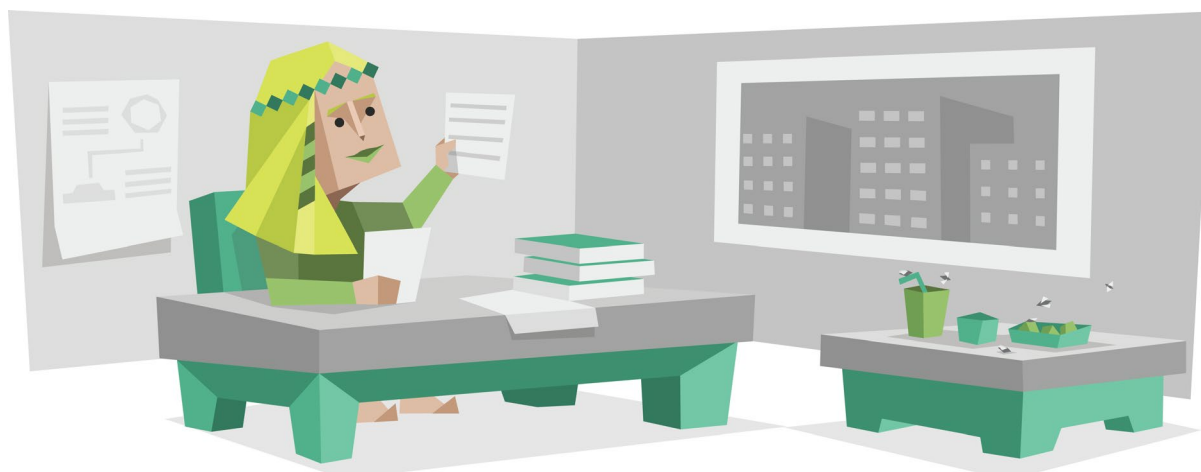
このような想像の世界で、自分の居場所と自分の本質を仲介者は探るでしょう。これは美しい気質でもあるのですが、そのせいで行動を起こす代わりに空想にふけってしまう傾向もあります。充足を感じられなかったり、自分は無能だと感じたり、イライラしたりするのを避けるためには、自分のアイデアや夢を現実のものにするようアクションを起こす必要があります。

使命を探し求める

自分の人生における目的意識を理解できなければ、「人生に方向性がない」「行き詰まりしている」と感じてしまう傾向があります。多くの仲介者にとって“人生の目的”は、他人の苦しみをあたかも自分の苦しみのように感じる能力や、他の人をサポートすることに関するものです。仲介者は皆を助けたいと思うのですが、エネルギーと努力を集中して使わなければ自分が疲れ果ててしまうでしょう。

春が来ると花が咲くように、幸いにも非常に暗い季節の後でも、仲介者の理想主義と想像力は開花します。完璧な世界を作るのは無理だと分かっているけど、「できる限りよい世界にしたい…」と仲介者は思うのです。この“正しいことをする”という静かなる信条のおかげで、仲介者はどこに行っても大抵、慈悲の心、優しさ、美しさを周りから引き出すのです。

長所と短所



仲介者の長所

- 共感力が高い – 仲介者は理論として他の人に配慮するだけでなく、高揚感や喜びから悲しみや後悔まで他の人のあらゆる感情を実際を感じられます。このように繊細なので、思慮深く優しい性分を持ち、意図的でないとしても他人を傷つけることをものすごく嫌います。
- 寛大 – 他の人を犠牲にしてまで成功を収めることはまれです。人生の楽しみを他の人と分かち合い、他の人の功績を褒めたたえ、周りの人を応援する—これが自分の使命だと感じています。すべての人のニーズが満たされていて、皆の意見が尊重される社会になるよう貢献したいのです。
- 偏見のない心を持つ – 受容的かつ寛容なので、他の人の生活様式や考え、決断を非難しないよう心がける人たちです。欠点を見つけようとするのではなく、思いやりを持って人に接することを好むので、過ちを犯した人に対してでもエンパシーを感じます。このうえなく心が広いので、友人や愛する人たち、また時には赤の他人から秘密を打ち明けられることがよくあるでしょう。
- 創造力がある – 型破りな視点からものを見ることが大好きなので、多種多様なアイデアや可能性、空想に思いを巡らすことを非常に面白いと感じます。仲介者の多くはクリエイティブな活動に惹かれるのですが、作家やアーティストの間で仲介者型が多いのも当然でしょう。
- 情熱あふれる – アイデアや(社会的・政治的)運動に興味をかきたてられると、全身全霊を捧げたくくなります。いつも積極的に発言するタイプではありませんが、自分の信念に沿った大義に対しては強い思いを抱いています。
- 理想主義的 – 正しい行いをすることが簡単でなかったり不都合を生じたりする場合でも、自分の良心に従うよう努めます。有意義な人生を送りたい—つまり、人助けをして、世界をよりよいものにしたい—という自身の願いは滅多に見失いでしょう。

仲介者の短所

- 非現実的 - この世の中に完璧なことはない— 仲介者はこの真実を受け入れがたく感じます。どうしようもないほど現実離れした性分があり、自分の人生について理想的なビジョンを持つ人たちなので、必然的に現実が自分の夢と異なるとがっかりしてしまふでしょう。
- 自分で自分を孤立させてしまう - 人とつながりたいと切望するのですが、その方法が分からない時があります。新しい環境にいる時はことさら、新しいコミュニティに参加する、または新しい友達を作るために人と交流したり外出したりするのを嫌がることがあるので、寂しいと感じたり疎外感を抱いたりする場合があります。
- 注意散漫 - 生産的であるためには、内省的かつ想像力豊かな性分は必ずしも役に立つものではありません。何かに真面目に取り組み、ものごとを達成することは仲介者にとって極めて難しいので、イライラしてしまうかもしれません。仲介者に能力がないのではなく、むしろ、さまざまなアイデアや理想に夢中になり、やらなければいけないことに集中できない—という問題にぶつかってしまうのです。
- 感情的に傷つきやすい - 感情を把握する能力は仲介者最大の強みの一つですが、バウンダリーを引くようにしなければ、他の人の否定的な姿勢や気分を自分の中に取り込んでしまふでしょう。
- 人を喜ばせるのに必死 - 調和と承認を渴望するので、対人関係における対立があるとストレスを感じます。誰かに嫌われたり批判されたりすると、誤解を解いて相手の考えを変えることに執着してしまう場合もあるでしょう。残念なことに、他者を喜ばせたいという願望は仲介者からエネルギーを奪ってしまうので、自分のニーズについての理解や内なる知恵を失いかねます。
- 自己批判的 - 自分が持つ独特なポテンシャルを信じているので、ポテンシャルを開花させたいと強く願っています。その結果、非現実的なことを自分に期待してしまうこともあるでしょう。ビジョンを叶えられないと、「自分は情けないくらい無能だ」「役立たずだ」「自己中心的だ」と考えてしまう可能性もあります。自己批判の度が過ぎると、仲介者はやる気を失い、最も大切な夢でさえも諦めてしまう場合があります。

今あなたは自己批判的な気分ですか？ 次のセクションに進む前に上方にスクロールして長所をもう一度読み返し、仲介者のあなたがどれほど大きく世界に貢献できるかを再確認してください。

恋愛関係

仲介者は理想主義者である上に夢想家でもあり、恋愛においてこのような気質はなおさら顕著になります。本当の愛の“美しさ”と“力”を信じているので、“本当の愛”以外で妥協したくない…と心から思っています。

仲介者は大きな期待を胸に恋愛の世界に臨むと言ってもいいでしょう。自分の心の奥底にあるものを誰かと分かち合うのはどんな感じなのか…と想像しながら、完璧な恋愛関係に

ついて長年、夢見てきたかもしれません。でも現実の恋愛にショックを受け、「理想を妥協しなければ、パートナーには出会えないのか？」—という難題と向き合わなければいけない場合もあるでしょう。



ものすごくロマンチック

仲介者はただ単にパートナーを見つけたいのではなく、“魂の伴侶”とつながりたいのです。広い心を持つ上に気が利くタイプなので、通常、多種多様な人との付き合いを検討するでしょう。パートナー候補の“表面的な特性”—たとえば外見、社会的地位、財産など—を気にせず、より深く有意義な面での相性に集中できる自分の性分を、仲介者は誇りに感じているでしょう。

恋愛を通して結ばれた2人の人間は、協力しながらお互いを以前より幸せにさせ、よりよい人間にもさせることができる—と仲介者は考えます。

とはいっても、「仲介者はパートナーに特別期待していることはない」と考えるのは誤解です。想像力豊かな上に活発な精神の持ち主なので、理想のパートナーに関するビジョンを作り出し、それを常に意識している傾向があります。このビジョンは、お気に入りの架空の人物や、以前関わりがあった人、はたまた“愛のあるべき姿”として自分で自分に言い聞かせてきたストーリーにもとづく場合もあるでしょう。

多くの仲介者は初対面の人と会うと、自分が思い描いてきた“理想のソウルメイト”とつい比べてしまいます。当然、そのような比較をすれば、却下されてしまうパートナー候補は少なくありません。現実世界の生身の人間が仲介者の長年の夢を叶えるのは、不可能ではないにしても難しいでしょう。

努力をする

本当の愛は魔法のように現れるのではなく、相互理解や妥協、努力が必要なんだ…と多くの仲介者はやがて気づきます。結局のところ完璧なパートナーなんて存在しない上に、最

も美しい恋愛関係でさえも困難が伴うものです。幸いにも、パートナーとの関係を強化するために色々努力することに、仲介者は大きな喜びを感じるでしょう。

一見したところ物静かな人たちですが、ひとたび恋に落ちると、仲介者の心の中は情熱に満ちている様子がすぐ分かります。献身的かつ忠実な気質の持ち主なのですが、パートナーの自主性を尊重し、相手のありのままの姿を受け入れるよう努めるでしょう。一方で、パートナーが学び、成長し、自身の目標を達成する力になりたいとも思います。自分、そして自分の周りの世界をより良くする方法を絶えず考え出す人たちなので、パートナーがまるで八方塞がりの状況にいるように感じたり、不幸せに感じたりすることはまったく望んでいないのです。

持ち前の“慈悲深さ”と“洞察力”を生かして、仲介者は大切な人たちを理解するでしょう。そして、クリエイティビティを利用して、パートナーが「自分は大切にされている」と感じられるよう努めるでしょう。

パートナーが自身の人生を改善するよう、多くの仲介者はまい進します。これは立派な目標なのですが、パートナー自身に本当に変化を受け入れる準備があるかを確認し、また仲介者自身のニーズも自分で把握することが必須です。これらを実行した上で仲介者がパートナーを応援することに専念した場合、仲介者はパートナーの人生に大きく貢献できるでしょう。

偽りのない関係

仲介者は“意見の差異”より“調和”を求めるので恋愛関係が安定しやすくなりますが、問題も発生するでしょう。対立を避けるために気になっていることを率直に話さないのが、逆に問題に固執してしまったり、自分だけで問題を解決しようとしたりする場合があります。パートナーを喜ばせることに集中しすぎて、自己意識を損ねてしまったり、自分にとっての優先事項に悪影響を与えたりするでしょう。

隠し立てせずフランクに意思疎通をすることはたとえ簡単でなくても、恋愛関係において極めて重要である—このことを自分に言い聞かせる必要があるかもしれません。実際に、ざっくばらんに対話をすることで恋愛関係が改善されることもあるでしょう。

正直にコミュニケーションが取れさえすれば、仲介者は容易に自分らしさを保つことができ、愛しきパートナーにも同様のことをするよう働きかけるでしょう。自分の心と頭のすべてを使って恋愛に臨むことで、愛し合うとは本質的にどういうことか理解できるのです。

友人関係

社交関係において、仲介者は数多くの矛盾を抱えている場合があります。ひとりの時間を求める一方で孤独を感じやすく、「人に受け入れてもらいたい、好かれたい…」と思う一方

で、偽りの自分を演じることを毛嫌いします。さらに、注目を浴びたいとは思わないのですが、自分の存在が無視されるのも好みません。

幸い本当の友達に囲まれている時は、仲介者はこれらの不安にさいなまされずに済み、もっと重要なことに集中できます。仲介者にとって友情は、“お互いを応援し合い、お互いの人生を改善させ合う機会”なので、とても貴重なものです。「まさかの時の友こそ真の友」という古いことわざを心底信じている人たちでもあるので、大切な友達を支えることができると、仲介者の目的意識はものすごく高まるでしょう。

このような人間関係に猛烈に労力を注ぎ込むタイプということもあり、少人数の親密な友人たちと時間を過ごすことで最も充実感を得られる傾向があります。知人は現れては消えるかもしれませんが、最も仲の良い友人たちの中には仲介者との友情が一生続く人もいますでしょう。



相性が抜群の人を探し求める

仲介者は心温かく受容的な人たちですが、友人を容易に作れるタイプではありません。カジュアルで表面的な関係では、むなしい気持ちになるからかもしれません。自分が世の中から受け取る以上に多くのものを世の中に与えたい、深く考え感じたい、正しいことをしたい—仲介者同様にこのように思う人たちと、長期的に真の友情を築くことを望んでいます。

相性の合う人たちに囲まれると、
「他人との比較はせずに、ありのままの自分をさらけ出せてうれしい」
「自分は受け入れられている、理解されている」と仲介者は感じるでしょう。

それでも、仲介者はさまざまなタイプの人たちと友達になれるでしょう。直感型と探求型という性格特性の組み合わせのおかげで多様な価値観に惹かれるので、自分とはかけ離れた世界観や経験を持つ友人を大切にして、表向きには共通点がほとんどないような人たちとつながることで、元気をもらうこともあるでしょう。

共通の経験だけでなく、共通の価値観が真の友情を築くためには不可欠だ——と仲介者は考えるので、たまたま付き合いがあるからといって強靱な友情を培うことはまれです。たとえば、とてもよく思っている同僚がいたとしても、同じオフィスやお店で働いているだけでは確固たる友情に発達するという保証はありません。仲介者は、もっと深いつながりを求めているのです。

一生の友人

一旦誰かと友達になったら、「一生その人と親密な友情を保ちたい…」と仲介者はひそかに（または、おおっぴらに）願うこともあるでしょう。そして極めて深い情緒的洞察をもとに、繊細かつ詩的なウィットを効かせたやりとりを楽しみ、相手を一生懸命サポートしながら揺るぎない友情を築くでしょう。長年にわたる友人関係においては、相手を必死になってかばおうとする気質など、あまり知られていない面が浮き彫りになる傾向があります。自分で自分を擁護するのは苦手でも、友人の味方になることはできると多くの仲介者は感じるでしょう。

友情を大切にする人たちですが、自分のエネルギーをチャージするためには、ひとりでいる空間と時間を必要とします。改めて自分自身とつながり元気を取り戻すためには、親友からさえも身を引くこともあるでしょう。このように自分を隔離させるのは通常、一時的なのですが、友人が「仲介者に冷たくあしらわれている」と勘違いしないように気をつける必要があります。

友人との絆が深まってきても、仲介者の謎めいた気質が完全に消え去ることはありません。

仲介者は普段から友人関係をより良いものにするよう励み、大切な人たちに愛情を注ぎ込むタイプです。つまり、将来の崇高なビジョンを考え出したり、ひそかな夢やアイデアを信頼できる人と共有したりしながら、友人たちと充実したひとときを過ごすでしょう。自分一人である時でも、仲介者は友人たちのことを忘れることは決してありません。

子育て

仲介者は人生を“旅”ととらえていて、この世の中で自分なりの生き方を見つけられたとしても、「他の人たちが充実感あふれる幸せな人生を送れるように手助けするのが、自分の使命だ」と思っています。持ち前の非高圧的で控えめなやり方で、他の人が学び成長できるよう導くのが大好きな人たちで、仲介者にとって子育てはまさにそれを実践できる最高の機会です。子育てから大きなやりがいを感じるでしょう。

子どもが生まれたばかりの頃から、穏やかで心が広く、優しい親になるよう仲介者は心がけます。子どもが周りの世界に目を見開いて驚く様子に、喜びを感じるでしょう。また子どもが自分なりの意見を持ち、自分の興味を発見して個性豊かな人間に成長するよう、子どもに自由を与えるでしょう。その一方で、親からものすごく愛されていることを子どもが決して

忘れないように、ありのままの子どもを受け入れながら子どもを支えることで、子どもにとって安定した基盤を築くのです。



仲介者は思いやりがある上に敏感なので、子どものニーズや視点をよく把握できます。自己を子どもに投影するのではなく、“さまざまな面を持つ独自の人間”として子どもを理解したいのです。

難題に立ち向かう

「自由奔放な気質の子どもを育てるのは楽しい…」と仲介者は感じることもありますが、だからといって子どもに対して完全に無干渉なわけではありません。他の人に思いやりを持つ、慈悲深く、正直である—これらを含む重要な価値観、さらには個人として責任を持つとはどういう意味か—特に他の人を傷つけないことについて—を子どもに教えたいと思うでしょう。

他の性格タイプの親と同様に、子育てをする上で必然的にさまざまな課題に直面しますが、親としての責任を真剣に受け止めているので、子どもが大なり小なり間違ったことをすると、あたかも自分の失敗のように感じてしまいます。思いやりに欠けた行動、または非道徳的な行動を子どもがするのを見ると、なおさら動揺してしまうことがあります。

仲介者は非常に強い良心の持ち主なので、子どもが正しい行いをしないと自分を責めてしまうこともあります—そうすることが、たとえ生産的・合理的でなくてもです。

子どもが何か過ちを犯すと、「私は親失格か…？」とつい考えてしまうことがあり、自分を責めるばかりか子どもの問題行動について適切に対処しないことがあります。仲介者にとって子どものしつけは容易ではないかもしれませんが、持ち前の穏やかで優しい気質とうまく釣り合いを取れば、善悪についてうまく子どもに教えられますでしょう。

“アドリブで何かをすること”と“整った環境を作ること”のバランスを取る

仲介者はもちろん「子どもの良い手本になりたい…」と思うので、自分自身が抱える問題やネガティブな感情、欲求不満は隠して、自分の良い面を子どもに見せるよう努めます。おかげで家庭内ではある程度、調和が保たれ、子どもは安心感を得られる上に「自分は大切にされている」と感じるでしょう。同時に、仲介者は世の中の大きな問題から子どもを守ろうとすることがあります。これは子どもが幼いときはもちろん適切ですが、いずれは厄介な問題についても子どもと会話をする必要があるでしょう。

多くの仲介者が面するもう一つの課題は、子どもがものごとを進めやすいように日々の環境を整えたり、ルールを課したりすることです。幸いにも持ち前の創造的エネルギーを生かすことで、子どもの好奇心や情熱を抑圧することなく仲介者はバウンダリーを引くことができます。他の人の立場になって考える力が抜群にあるので、子ども個人のニーズに本当に沿った形で子どもの予定や規則を作れるでしょう。

“アドリブで何かをすること”と“整った環境を作ること”のバランスを取れば、責任感が強く、かつ喜びにあふれた優しい人間に子どもが成長するようサポートできるでしょう。仲介者が親として目指しているのは、まさにこれなのです——子ども自身が自分特有の才能や資質を認識し、それらを世界と分かち合うこと——。

キャリアパス

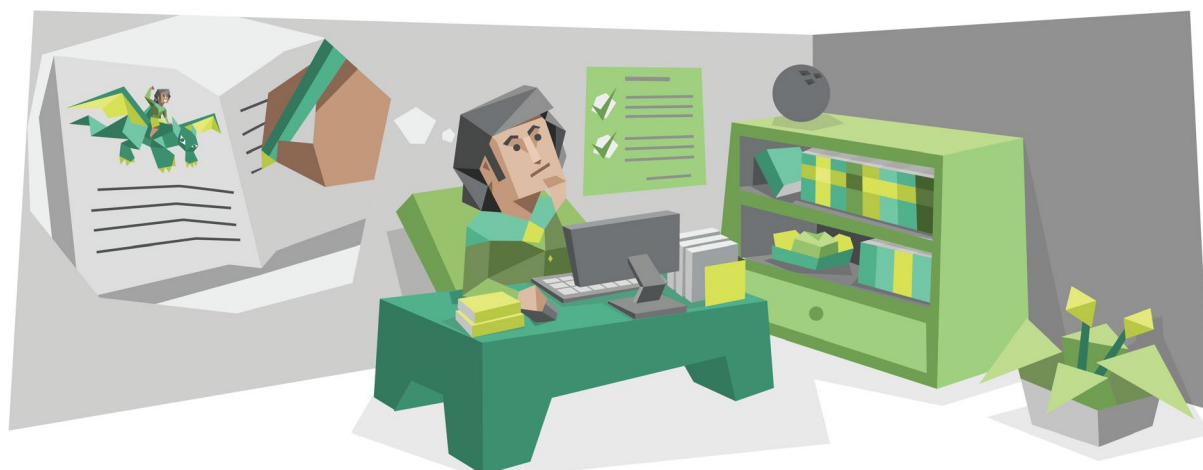
多くの仲介者はただ単に生活のために仕事をするのではなく、仕事からやりがいを感じたいと強く願います。心から好きなことをしながら日々を過ごしたいので、できれば面倒な人間関係やストレスが少ない仕事を好むでしょう。

仲介者にとっての理想的なキャリアパスは、仕事ではなく使命のように感じられるものです。厄介な付き合いや電話対応が少ない仕事なら、なおさら好都合だと感じるでしょう。

仲介者は理想主義者なので、自分の夢を叶えつつも現実的なニーズを満たす職業を探すのに苦労するかもしれません。完璧な仕事が見れるのを待つことにいらだちを感じ、最終的には「自分のポテンシャルを開花できないのではないかと…」と心配になったり、身動きが取れないと感じてしまったりするでしょう。

残念ながら“完璧な仕事”などこの世に存在しないので、「理想ではない仕事で妥協すべきなのか…」という疑問に悩まされるかもしれません。ラッキーなことに仲介者は独創的で独立心が強い上に「他の人とつながり、人助けをしたい」と誠実に願う人たちなので、大抵どんな仕事についても活躍し、充実感を得られるでしょう。

自分の居場所



仲介者にとってとりわけ魅力的なキャリアはいくつかあるでしょう。自己表現が大好きな上に好奇心旺盛なので、作家になることを夢見る仲介者は少なくありません。フリーランスとして面白いニッチを見つけたり、小説を書いたり、はたまた企業や非営利団体にコミュニケーション関連の業務をしたりする仲介者もいるでしょう。創造力が豊かな人たちなので、資金調達やマーケティングについての無味乾燥な資料であっても、新たな生命を吹き込めるのです。

仲介者は“芸術美”に敏感なので、ライティング、音楽、演劇、ダンスの世界ではものすごく生き生きするでしょう。

「注目を集めたい」と思う人たちとしては知られていませんが、舞台芸術に人生の目的を見出す仲介者もいます。深い内面性を生かして、ものすごく繊細に作品を解釈できるのです。脚本家、作曲家、振付師として自ら作品を作り上げる場合もあるでしょう。

どんな仕事についていても、「仕事を通じて人助けができています」と実感したいと仲介者は思います。サービスを中心とした仕事—たとえばカウンセリング、心理学、教育、ヘルスケア、福祉、マッサージセラピー、身体のリハビリテーションなどの仕事—につく仲介者が多いのも納得です。サポート上手で優しい人たちなので、仕事を通して誰かの生活が改善されることを目の当たりにできると、大きなやりがいを感じるのです。

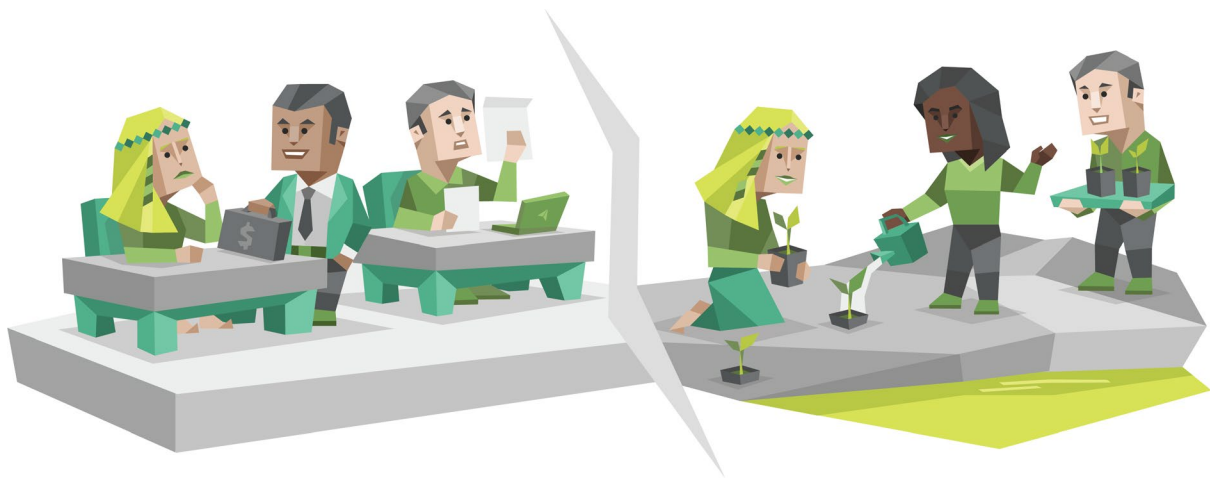
使命を見つける

仲介者は適応能力が高い人たちですが、非常に慌ただしかったり、ストレスに満ちていたり、官僚的だったりする職場環境ではやる気を失ってしまうかもしれません。極めて競争が激しかったり、批判的だったりする職場でも不満を感じるかもしれません。逆に自主性を重視する職場は仲介者にぴったりでしょう。ただし、やるべきことをぐずぐずと先延ばしにしたり、物思いにふけてしまったりしないために、ある程度整った環境で監督されながら働くのも悪くないでしょう。

でも、仲介者は理想的な環境にいなくても大いに存在感を発揮できます。仕事においても他の人生の領域においても、仲介者は自分の価値観に合った生き方を求める人たちです。使命感を持って仕事に取り組むことで、どんな難題があっても耐え忍び、苦境を乗り越えられるでしょう。

職場での傾向

仲介者は目的意識を持って仕事に取り組みたいと思う人たちなので、自分の肩書きや役職に関わらず、感情面や倫理面で自分の仕事がどのようなインパクトを持つかを常に忘れないようにします。日々の仕事を通して何らかの形で人助けをしていることを、再確認したいのです。この“奉仕の心”は、職場で仲介者が権力者にどう対応するか、そして、どのように仲介者自身が権力を行使するかに影響を与えます。



部下として

思慮深く、忠実で、陽気な部下になる傾向があり、どんな状況下でも正しいことをして正直でいる自分の性分に誇りを感じているでしょう。上司から顧客まで、他の人を喜ばせることで大きな満足感を得られるので、チェックリストや最終損益などは気にせず、どうやって他の人を支援できるか考えている時に最もモチベーションが高いでしょう。

ポジティブなフィードバックを受けたり、褒め言葉をもったりすると、仲介者の顔色がパッと明るくなることも納得です。上司が極めてネガティブだったり、上司から過度な期待をされたりすると、仕事をうまくこなせないこともあるでしょう。さらにメールの受信箱があふれかえっていたり、電話が常に鳴っていたりすると注意散漫になってしまい、ものすごくストレスを感じてしまうでしょう。

自由に仕事をするのが好きなので、自分の意見を言い、ものごとを改善するチャンスを与えられれば、持ち前の洞察と創造力を生かして古くさい非効率的な仕事の進め方を一新できる人たちです。でも仕事を順調に進めるには、仲介者に求めることを明確に伝えて、締め切りを設定することが重要です。そうでなければ、“やることリスト”のタスクに集中して取り組む代わりにいろいろなアイデアに考えをめぐらせてしまい、やるべき仕事を後回しにしてしまう場合があります。

同僚として

公正さと平等を大切にしている人たちなので、序列のある職場で息苦しく感じるのは当然でしょう。肩書きが何であろうと、「自分は大切にされている」と誰もが感じ、皆が意見を述べるよう奨励されている職場を仲介者は好みます。この理想を現実のものとするために、仲介者は同僚としてできる限りのことをするでしょう。

独特の物静かなやり方で、職場の人たちをまとめる役割を担うこともあります。声高なタイプではないかもしれませんが、仲介者の洞察力の高さは高く評価されるので、仲介者に日常的にアドバイスを求める同僚も少なくないでしょう。人当たりがよく心優しい性分なので、社内政治やコンフリクト、面倒な人間関係は好まず、調和と協力の精神を育むよう皆と接するでしょう。誰かが助けを必要としている時には、褒め言葉や感謝の意を期待せずに手を差し伸べる傾向があります。

仲介者の同僚としての最大の強みの一つは、
共感的コミュニケーションができるということです。
正直でありながら優しく話すので、職場全体がポジティブな雰囲気になるでしょう。

上司として

他の性格タイプと比べると、上司であっても責任者のように振る舞わない傾向が最も強いのが仲介者です。従業員をただの労働者として見ることはせずに一人の人間として尊重するので、自分だけですべての事柄について決断を下すのではなく、従業員によく意見を求めるでしょう。

通常、仲介者はマイクロマネジメントをしない代わりに、仕事の全体像に集中します。従業員に細々とした指示を出したり、仕事のやり方に注文をつけたりするのではなく、従業員を下支えすることが自分の責務だと考えるのです。部下が独自のアイデアを考え出し、部下自らが判断をして仕事を進めるよう、できる限り働きかけるでしょう。

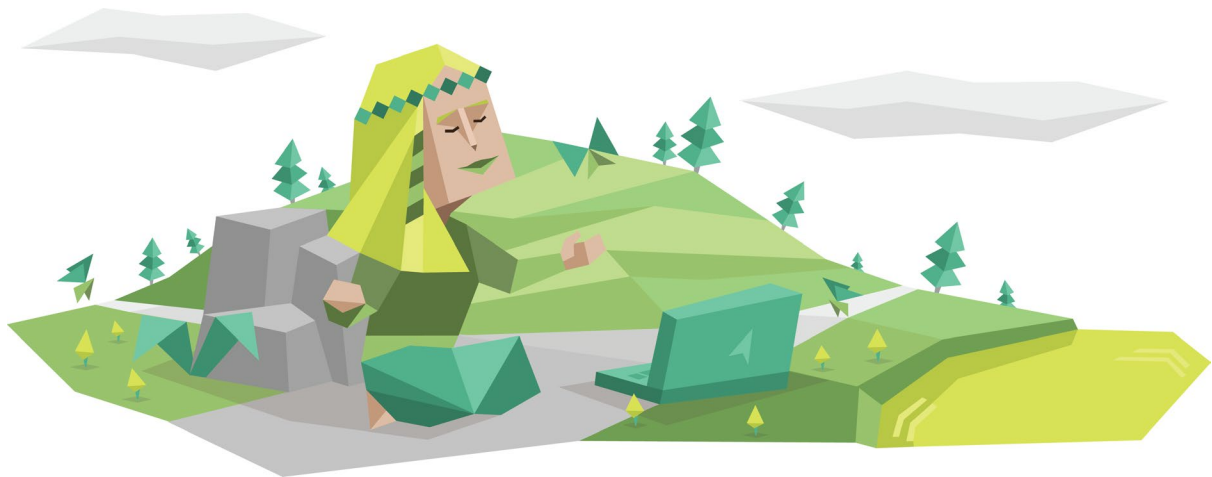
このマネジメントスタイルにはデメリットもあります。仲介者はバウンダリーを引いたり、非効率な仕事を検証したり、部下を批判したりするのは得意でなく、たとえこれらが必要な場合でもうまく実行できないのです。その結果、チームの仕事がはかどらなかつたりして、仲介者と部下の双方に不必要なストレスが生じることもあります。チーム全体、そして職場全体の利益のためには、時には部下に厳しくならなければいけない場合もあるでしょう。

まとめ

仲介者ほど詩的で優しい心を持つ性格タイプはあまりいません。仲介者はこれら独特の資質を利用しながら、あらゆる難題や障壁を乗り越え、その過程で周りの人の生活を明るくするでしょう。

仲介者のクリエイティビティ、想像力、優しさは、
自己成長の分野も含めて多くの場面で重宝されます。

ですが自分の利益を顧みない気質や理想主義が、メリットではなくデメリットになってしまう場面では苦い思いをすることもあるでしょう。パートナーを見つける（またはパートナーとの恋愛関係を続ける）、やりがいのあるキャリアを追求する、将来のために計画を立てる—これらの事柄に関しては、持ち前の強みを活用しながらも新しいスキルを磨いたりして、短所を長所に変える努力が必要です。



仲介者の秘密の生活

ここに書いてあることは、仲介者の複雑な性格タイプのほんの“さわり”です。これを読みながら、あなたは「これはどんぴしゃで自分に当てはまる」「やっと理解してもらえた！」「すごく仲が良い人も知らないことをなんで知っているんだろう？」などと、心の中で思ったかもしれません。

これはトリックなんかではありません。私たちは実際にあなたのことをよく理解しているので、あなたは「自分のことを分かってくれた」と感じたのです。仲介者がどのような思考回路を持ち、全力発揮するには何が必要か—これらを私たちは研究してきました。その過程で、仲介者はどうすればとても大きな個人的な課題を乗り越えられるかも学んできました。

でも、これらの課題を克服するには、あなたに合った計画が必要です。どこにたどり着きたいか、なぜそこにたどり着きたいのか…というビジョンが不可欠なのです。ここでは仲介者の長所・短所および特定の状況下での行動傾向について知識を身につけました。

自分についての理解を深め、自分自身を受け入れることは、自分の人生を改善して前進していくための最初の第一歩である—これが真実なのです。

大きく進歩する

これで基本的なことは学べたかと思います。“自己発見の旅”における次の一歩は、「プレミアムガイド&テスト」です。仕事から人間関係まで人生すべての領域での、仲介者に特化し

たアドバイスとお役立ち情報が満載です。これを読めば、仲介者として生きる——つまり、“自分らしく生きる”とは具体的にどういうことなのか理解できるでしょう。自分ならではの人生を切り開いていく用意はできていますか？ ぜひプレミアムガイド&テストをお読みください。

[プレミアムガイド&テストをしてみる →](#)